

登録コード	HB392400	開講年度	2026			
授業題目	乳腺外科学特論				担当教員	伊藤 研一 他
英文授業名	Breast Surgery				副担当	金井 敏晴・大場 崇旦
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HB4年制加					
	【研究科共通_2024年度以前加付対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観				乳癌で亡くなる人を少なくするために、今後どのようなことが必要か、科学的に考えることができるようになる。	
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				乳癌の臨床で課題となっていることを解決するための科学的な方法を立案できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	本邦の女性の癌で罹患率第1位となっている乳癌について、疫学や治療方法、現在の臨床で課題となっている事項を講義で学び、新規治療戦略に繋がるようなトランスレーショナル・リサーチを、培養細胞やマウス担癌モデル、臨床検体を用いて行う。					
(3)授業の概要 /Overview of course	オムニバス方式で全15回の講義を行う。乳癌のバイオロジーについて履修した後、現在の治療の問題点や限界について検討し、今後の治療戦略について考察する。					
(4)授業計画 /Course plan	・乳癌の疫学、診断方法、外科的治療、放射線療法、薬物療法について、講義を通して学ぶ(全3回)。 ・臨床で課題となっていることを検証し、新規治療戦略を開発するための基礎的医学研究を、培養細胞、臨床検体、マウス担癌モデルなどを用いて行う(全12回)。					
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	課題に対する定期的な口頭試問(50点)、と最終レポート(50点)を合計して評価を行う。					
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	課題に対する口頭試問においては、問題の解決にむけた科学的な根拠に基づいて組み立てた論旨を展開できれば合格水準とする。最終レポートでは、自己の大学院での研究の科学的な意義を、論理的に記述できれば合格水準とする。 評価は100点満点として、秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下					
(7)履修上の注意 ・事前事後学習の内容/Notes	出席も重要な評価項目になります。					
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	適宜受け付けます。					
(9)授業の形式 /Course format	講義と演習を行う。					
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない。					
【参考書 /Reference work(s)】	指定しない。					